

整理番号 2021M-042

補助事業名 2021年度 中国地域の技術開発・産業振興 補助事業

補助事業者名 公益財団法人 中国地域創造研究センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

① 事業化交流会

大学等の研究者と企業とのネットワークの形成・強化およびシーズ・ニーズマッチング機会提供による商品化・事業化の促進支援。

② 新産業創出研究会

中国地域の新しい産業創出を目指し、大学・高専の研究シーズをもとに、企業の事業化ニーズ実現のための産学連携研究テーマを公募する。その中から採択したテーマについて、助成を行うとともに、定期的に進捗管理を行い、1年間の研究活動期間を通じて、公的支援制度への応募や商品化・事業化に向けた課題解決の支援を行う。

③ 質感色感研究会

感性工学・人間工学を活用した付加価値の高い魅力的なモノづくり・サービスの開発を目指す企業の支援により「ひとあじ違うモノづくり、サービスの定着」を図る取り組み。

④ 産業創出講演会（中国創研定期講演会）

産業・経済界の経営者・技術者の方々や地域の皆さまを対象に、先端技術や技術動向等の最新の話題について講演会を実施し、新たなモノづくり、及び新規事業創出に向けての動機づけを行う。

(2) 実施内容

① 事業化交流会 (<https://crirc.jp/jigyonaizou/rd/kouryu/y/2021.php>)

- ・電子デバイス事業化フォーラム（3回）、ヘルスケア・医療福祉事業化交流会（3回）の計6回の実業化交流会を実施し、専門家による最新情報の提供を行うとともに大学等の研究シーズ紹介により企業とのマッチングを図った。
- ・新型コロナウイルス感染拡大のため電子デバイス事業化フォーラム1回を中止した。開催時も会場＋WEB開催のハイブリッド開催1回、WEB開催5回となり、地理的な制約は解消されたこともあり、今年度の参加者は延べ542名であった。



〔電子デバイス事業化フォーラム〕



〔ヘルスケア・医療福祉事業化交流会〕

②新産業創出研究会 (<https://crirc.jp/jigyonaizou/rd/shinsan/ke/2021.php>)

産学連携による研究テーマの応募35件（特別コース5件、標準コース30件）の内、採択された11件（標準コース）のテーマについて、助成を行うとともに、大学・高専、企業および当センターの三者で研究会を構成して、年3の定例会議を開催し、事業化に向けての課題解決を図った。今年度は、コロナ感染拡大の影響により、すべてWebでの会議開催となった。

また、ほとんどの研究実施者が新産業創出研究会終了後も研究を継続する意向を示しており、数年後の商品化・事業化が期待できる。



〔定例会議の様子〕

③ 質感色感研究会

(<https://crirc.jp/jigyonaiyou/rd/shitsukan/pdf/houkoku/2021/220112.pdf>)

研究会（非公開）を2回開催（参加者数：58名）、感性サロンを1回開催（参加者数：177名）、個別検討会を41回開催し、参加企業の課題解決に向けた研究活動の支援や感性工学・人間工学を活用したモノづくり・サービス開発に関する意見交換・情報交換・普及啓発を行った。



〔感性サロン〕



〔研究発表会〕

④ 産業創出講演会（中国創研定期講演会）

(<https://crirc.jp/jigyonaiyou/information/kouen/pdf/211101.pdf>)

『次世代技術が切り拓く地域の未来』をテーマとし、今後の産業分野へ影響を与えるであろう次世代移動通信規格である“5G”をキーワードとし、企業や社会にもたらす変化等に関する講演会を会場+WEB開催により開催した。（参加者：178名）



（全体風景）



（講演風景）

2. 予想される事業実施効果

① 事業化交流会

中国地域では聴講機会の少ない専門家からの最新情報や先進事例の紹介を行うことにより、企業経営者や技術者に新たなモノづくりや新規事業創出に向けたきっかけづくりが期待できる。また、大学等の研究シーズ紹介を通じて大学等と企業とのマッチングの場を提供し、事業化可能性や事業化に向けた課題等の検討を支援するとともに、過年度案件のフォローアップ等を通してプロジェクト組成を行い事業化推進に尽力している。以上を鑑みて、本事業により今後の中国地域の産業創出および活性化が期待できる。

② 新産業創出研究会

本研究会終了後、直ちに、事業化・商品化したものはないものの、大型補助金を獲得して、次ステップの研究に進むことを計画している案件や、研究成果を公表して、新たな適用先を模索し、実用化研究に進む案件などを含め、すべての案件が、今後も研究を継続することになっている。このため、将来的には、事業化・商品化につながる可能性があり、新産業の創出への貢献が期待できる。

③ 質感色感研究会

感性工学は広島が発祥の地であり、感性に関わる広島県内の他の公的機関とも協力体制が構築されており、今後も関係機関が連携しながら、広島を起点としつつ、中国地域で付加価値の高い商品・サービスの開発が期待できる。

④ 産業創出講演会（中国創研定期講演会）

企業経営者、技術者、研究者、更には新規事業・新ビジネスに関心の高い社会人や学生等、幅広いニーズを有する方を対象に各分野のタイムリーな情報提供を行うことで、産業の活性化、地域振興に関する事業は、地道で継続した取り組みが必要不可欠であり、このような継続した取り組みが中国地域の産業・地域の発展につながる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人 中国地域創造研究センター
(チュウゴクチイキソウゾウケンキュウセンター)

住所： 〒730-0041
広島県広島市中区小町4番33号 中電ビル3号館

代表者： 会長 瀧本 夏彦 (タキモト ナツヒコ)

担当部署： 産業創造部 ネットワーク支援グループ
(サンギョウソウゾウブ ネットワークシエングループ)

担当者名： グループ長 藤原 和彦 (フジワラ カズヒコ)

電話番号： 082-241-9941

F A X： 082-245-7629

E-mail： fujiwara@crirc.jp

U R L： <https://crirc.jp/>